

銀漢亭日録



伊藤伊那男

7月11日(月)

▼角川通信添削教室5人分。西村麒麟さんが佐藤文香、久留島元、江渡華子、渡辺康治さんの若手を案内して来店。全体にお客少なく22時半閉めて谷岡、いづみさんと餃子屋で浅酌。

12日(火)

▼「火の会」12人。鮎山椒煮、鶏ロースマリ、風味焼など。客は俳人だけ。こしたまほさんが母上と、早めに店閉める。

13日(水)

▼9月号の選句。暑い！ 少し昼寝。15時近くに店。発行所は「梶の葉句会」。選句に参加。店の奥「読む会」。今日は安住敦について。何と「春燈」元主宰の鈴木榮子さんをゲストで呼んでいる。菊田平、真砂年、うさぎ、麒麟、岩淵喜代子さんも。榮子さん、山本山の海苔を小生に持ってきて下さる。恐縮。武田さん、三菱商事時代の部下と4人。夜、発行所は「さくらさき句会」。終つて5人が親睦会。最後に吉田類さん「派来て賑やかな二日」。

14日(木)

▼暑い。7時過から「銀漢」8月号の校正。10時、武田編集長が車で取りに来てくれて渡す。何としても今日最終入稿と。「高速句会」選句など。14時、発行所にて「湯島句会報」の製本を追遊さん二派。店、洋酔、対馬、池田さんなど四方山話。

15日(金)

▼暑い！ 「銀漢」添削教室書く。発行所14時から「銀漢野村句会」12人。仕込み中に選句して選評に上る。終つて9人親睦会。藤枝市から五十嵐京子さん参加。静岡の黒はんぺんの土産あり皆でいただく。帰路久々「ヴィノテーク」パスたと白ワイン。

16日(土)

▼9月号添削教室書く。長女・桃子一家は昨日夕方の方で沖縄へ。北谷にマンションを借りて8月末迄と。午後、武蔵小山の次女・杏子の家。6番目の孫・颯斗のお喰初。愛媛から鯛の塩焼を手配しておく。婿の母上のちらしずしうがうまくて

17日(日)

▼猛暑！ マッサージ機に乗つてうとうとテレビを見る。星雲集秀句評書く。バニラを洗いい、顔と足の毛をセツト。ほんとは美容院に連れて行きたいのだが……時間が無い。夕方買物をかねて渋谷へ。酒場2軒はし。

18日(月)

▼さすがの暑さに動作が鈍い。マッサージ機に乗ったり、風呂に入ったたり……。原稿は進まず。15時から「青山アイズ」。本庄康代さんのスタジオにて柳家花緑の落語会。3席。終つて大西君の案内で近くの居酒屋。てる緒、対馬、いづみ、敦子、お静さん、皆腹空いていて二連休。餃子ほかがつつ食す。早めにする。かくして三連休終る。

19日(火)

▼星雲集秀句評。同人集秀句評書く。大型台風接近。夜中豪雨に覚める。店、毎日新聞の鈴木琢磨さん、気仙沼大島など被災地を巡り菊田島椿さんにも会つて取材した。その中で昨夏私が気仙沼で作った「海鞘喰うて津波の話」としきりしを聞いて驚いたと。また、災害に対して俳句は無力ではないか！ と問いかけあり。うーむ。

20日(水)

▼慧星集選句選評。発行所、「う句会」。岸本、敦子、肖子、文子、康治、俊樹氏の面々。台風警報の中、色々なお客来てくれる。22時半閉めて、展枝いづみさんと餃子屋。

21日(木)

▼台風上陸せずに過る。急に5月頃の気温に。「銀漢」の俳句他、9月号用原稿全て終了。昨年亡くなった小澤克巳さんの後継誌「爽樹」の環順子さん他4名来店。「秋」主宰佐賀正美さん久々。本日「銀漢句会」、欠席投句者多いので今回から欠席投句の方は5句から3句出しに変更。出句42名と。終つて20人程度。

22日(金)

▼京都の妻の叔母より連絡あり、八坂神社の近く東山区祇園下河原に谷崎潤一郎の常宿だった旅館「森庄」があり、実は人に貸していたが戻ってきたので片泊りの宿としてリニューアルオープンするので宣伝してくれ、とのこと。ああ、あの叔母ちゃん資産家だったんだ！ 「銀漢」8月号発送。6人程集まってくる。1時間ほどで終了と。発行所「金星句

23日(土)

▼転して5月並の気候。14時、日本橋の「鮎の与志喜」にて「纏句会」。句集『花源』を出版した天野小石さんをゲストに呼ぶ。14人。甘鯛とじゅんさいの葛煮、万願寺唐辛子、賀茂茄子の揚げしなど。あと握り。小石さんを囲み近くの「ITALIA」9人。ワインとビザ。終つて店に寄り自宅の駅で少し飲み帰宅。22時前に寝る。

24日(日)

▼湯島句会の選評。慶大俳句「丘の風」へ福神規子さんの自註句集評。夕方、蘆花公園のオリックス元常務の家。亡くなつて1年。高木さんと2人。奥様と思い出話。途中酔つて眠ってしまった。

25日(月)

▼角川通信添削教室1枚。「湯島句会」。出句92名。店に集まったのは48人。選句方法システム化で20時15分には披露全て終了。皆、俳句談議を楽しむ。あと7、8人で餃子屋。

26日(火)

▼慶大「丘の風」誌の俳論欄へ井上井月について6枚程送る。午後「銀漢秋句会」店内で14人。仕込みをしながら選句に参加。上智大学大輪先生絡みで「銀化」の峯尾文世さん幹事で井上泰至に敦子、肖子、阿部、栗原さんら7人の会。最後は2句出しの句会。

27日(水)

▼発行所、赤羽良剛さん幹事の「四季の会」。三ヶ月に回の句会と。「すかいらく」の横川正会長ほか多士済々12人。終つて店で親睦会。広渡敬雄氏(沖)4人。有澤志峯さん誕生日にてケーキ用意。祝う。盛況の一日。終つて展枝、小石さんと焼肉店。

28日(木)

▼9時よりレジーが家の掃除に入る。4時間。店の写真入替。壁に花火の一枚物の布製3メートルを貼る。雨模様の木曜日。店は波郷賞選考委員の鯛夢さん2名、麒麟、対馬さんの計4名。開店8年にして新記録の最低売上！ 22時に閉めてやけ酒。

29日(金)

▼店、幼馴染の松田茂君3人。直肇、眞理子、貢さんなど。雨となる。

30日(土)

▼軽井沢經由小諸着12時半。虚子庵を見て「第三回こもろ日盛俳句祭」会場へ。スタッフ俳人として初めての参加。「銀漢」の仲間も10人程。13時半より句会。本井英さんと教室を持つ。終つてシンボジウム。あと親睦会。その間に孀恋村から柴山つぐ子、黒岩清女さんが顔を見せに来てくれる。19時過から「銀漢」仲間他で「揚羽屋」で宴会。あと、カラオケのあるクラブ風の店。何とオールダーを2本空けたという。そのあとの記憶がない。

31日(日)

▼7時。強烈な二日酔いで吐き気まで。9時会場へ。バスで布引観音へ吟行。寺のベンチで寝る。何故これほどの二日酔いか。禅次さんが「もう1軒行ったんですよ」という。がすくには思ひ出せず。昼位になつてようやくタイ人のやたら大きな女性が何人かいるスナックのような風景が浮かぶ。そこに1時半位までいたらしい。……。ああ、こんな大事な日にまたやつてしまった……。13時半より句会。星野高士、筑紫磐井、小川軽舟さんと教室を持つ。披露担当。15時半終了。「北軽句会」の佐々木終吉さんが迎えに来てくれて、武田さんの車と2台、10人で孀恋村鎌原の芝山つぐ子家。庭でバーベキューパーティーと句会。集まってくれたのは、岡村妃呂子さん他の句会メンバー。地元の料理を沢山用意してくれる。終吉さんの車で軽井沢まで送つてもらった新幹線。23時過帰宅。▼昨日から杏と孫一人も沖縄へ。相田さん怪我でセルスと間違えてあやうく追い返すところ。失礼いたしました。週末村田脩先生の一周忌句会に上京と。武田編集長来て歓談。18時から発行所は勉強会。山口雪子について。11人と増えつつあり。終つて皆さん店へ。店では企画部打ち合わせ。池内けい吾さんが四国の干海老持ってきてくれる。

2日(火)

▼「春耕」同人欄校正。店の7月分月次表作成。「銀漢」9月号校正など。店閑散。23時前に閉める。にもかかわらず吉祥寺まで乗り越し。少し疲れているか。